

浜の活力再生プラン
令和 6～10年度
第 3 期

1 地域水産業再生委員会

組織名	姫津地区地域水産業再生委員会
代表者名	水野 信明（姫津漁業協同組合 代表理事組合長）

再生委員会の構成員	姫津漁業協同組合 佐渡市農林水産振興課
オブザーバー	新潟県佐渡地域振興局農林水産振興部水産庁舎 新潟県水産海洋研究所佐渡水産技術センター 新潟県漁業協同組合連合会両津支所

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	<p>【地域の範囲】 佐渡市姫津（姫津漁業協同組合）</p> <p>【漁業の種類】 海老籠漁業（2名） 刺網漁業（8名） 板曳網漁業（2名） イカ釣り漁業（9名） 一本釣り漁業（16名） 採介藻漁業（6名） 合計 28 名（令和 5 年 10 月 31 日現在）</p>
-------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>本委員会の対象地域は、佐渡島北部の外海に面しており、冬期間は北西の季節風による風浪の影響を受けるなど厳しい漁業環境下にあるが、沿岸域及び沖合には岩礁域が多く、佐渡北方漁礁群等天然の好漁場が形成されている。沿岸域では、板曳網漁業でカレイ類、タコ、ズワイガニ、タラ（マダラ）、南蛮エビ（ホッコクアカエビ）等、刺網漁業では、メバル（ウスメバル）、タラ、ズワイガニ等、エビ籠漁業では、南蛮エビ、バイ貝等、イカ釣り漁業では、イカ（スルメイカ）、一本釣り漁業では、メバル、イナダ、ワラサ等、採介藻では、サザエ、ナマコが漁獲されている。</p> <p>水揚げ金額は、第 2 期浜プラン策定後、令和 4 年の水揚量は 324t、水揚高は 233,364 千円であり、平成 30 年の水揚高 234,982 千円比で 0.7% 減少しているものの、令和元年から令和 4 年の平均では 239,205 千円と平成 30 年比で 1.8% 増加していた。依然として目標値に達してはいるが、コロナ禍であることを考慮すると高い水揚量を維持できていると考えられる。今後の課題としては、漁業者の高齢化等により、新たな担い手の育成と漁業後継者の確保が必要と考えられる。</p> <p>また、近年の円安原油高の影響により、燃油や漁業資材、輸送費の値上げなど、漁業に係る経費の高騰が魚家経営を圧迫している状況が続いている。</p> <p>この様な状況の中、漁業者は省エネ航行の励行や鮮度保持技術の導入など、自助努力によりコスト削減や魚価向上に継続して取り組んでいる。</p> <p>姫津漁業協同組合では、未利用魚、低利用魚を有効活用して加工品を製造販売することで、漁業者の収入増に繋げるとともに、魚食普及の推進を図っている。地魚を使用した加工品の開発や旅館ホテル等での販売など、販路拡大を図っていく必要がある。</p>
--

(2) その他の関連する現状等

姫津の総人口は、337人でそのうち75歳以上が64人と高齢化が進んでいる。産業については、昔は遠洋漁業等の出稼ぎ関係者が多く、地元の漁業関係者を含めると集落の大部分を占めていたが、現在では、漁業世帯は20%となっている。観光については、姫津大橋が5月から10月まで開通しており絶景が楽しめる。また、冬場の時化の時も高台から景色を見ることができる。その他、姫津漁業集落主催で7月にいかイカまつりが開催される。交通アクセスは、バスの便が少ないので自家用車かレンタカーを使用すると良い。加工品では、姫津漁業集落（大橋）のイカの塩辛が人気である。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

姫津漁業協同組合では、徹底した鮮度保持の対策や丁寧な箱詰め作業により、漁協が出荷する鮮魚の評価を高めることで、漁協全体の魚価の向上を図る。

旅館ホテル等の観光産業に向けて、未利用魚、低利用魚を有効活用した加工品の開発や販売を行うことで、販路拡大及び魚食普及を図る。燃油高騰の対応策として、漁業経営セーフティーネット構築事業の加入促進と漁船の船底清掃、省エネ航行、操業時間の短縮を実施することで、漁業コスト削減を図る。

以上の取組を行うことにより、プラン終了後の対象漁業者の平均所得を10%以上向上させることを目指す。

- ・漁業収入を向上させるための取組
 - ①鮮度保持技術の確立による魚価の向上
 - ②未利用魚、低利用魚を活用した新たな加工品の開発と販路拡大
 - ③海業により漁業者の収入の拡大
- ・漁業コストを削減させるための取組
 - ①漁業経営セーフティーネット事業の加入による燃油高騰対策
 - ②製氷施設の整備による出荷時の氷代の削減
- ・漁村の活性化のための取組
 - ①地域販促イベントの開催及び参加
 - ②意欲ある漁業者の育成と新規就業者の確保

(3) 資源管理に係る取組

- ・漁業権行使規則により、採捕できる水産動植物の体長制限や採捕禁止期間を設けている。
- ・知事認可漁業においては、漁業種類毎に漁具、期間、区域、体長、漁獲量などに制限を設けている。

(4) 具体的な取組内容

1年目（令和6年度） 所得向上率（基準年比）6.38%

漁業収入向上のための取組	以下の取組により漁業収入を向上させる。 なお、下記取組内容は、進捗状況及び得られた成果等を踏まえ、必要に応じて見直すこととする。 ①鮮度保持技術の確立による魚価の向上 漁獲時に活〆が可能な魚種については活〆を行い、滅菌海水の角氷を使用して鮮度維持を図る。箱詰め時には網目の下敷きを使用し、魚に氷の痕が付かないようにすることで、魚価の向上を図る。 ②未利用魚、低利用魚を活用した新たな加工品の開発と販路拡大 姫津漁業協同組合と漁協婦人部共同の加工部会は、既存の加工施設を活
--------------	--

	<p>用して、カレイ、メバル、イカ、タラ等の網による損傷により出荷できずに低利用な魚を対象に、傷に応じた切り身の醤油漬け・味噌漬け、一夜干しなどに加工して販売することで、漁業所得の向上を図る。また、ホームページを活用して商品のPRを行い、地方発送についての販路拡大を図る。</p> <p>③海業により漁業者の収入の拡大 体験漁業として、イカ裂き体験や釣り体験の指導による漁獲以外の漁業所得の維持を図る。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>以下の取組により、漁業用燃油等については、使用量を5%削減と円安原油高による物価上昇分5%を相殺して基準年を維持する。その他の経費については基準年比5%削減する。</p> <p>① 漁業経営セーフティーネット事業の加入による燃油高騰対策 組合内で漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を促進して、燃油急騰に備える。イカ釣り漁船においては、昼間操業により燃油使用量を削減する。</p> <p>② 製氷施設の整備による出荷時の氷代の削減 出荷時に氷を積み込むことにより氷の解ける量を減らす。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>① 地域販促イベントの開催及び参加 姫津漁業協同組合と漁業者及び地域住民が連携していかイカまつりを開催することにより、姫津地域の活性化を図り、加工品の販路拡大や魚食普及に繋げる。その他に、さかなまつりや協同組合まつり等に参加することで販路拡大や魚食普及を図る。</p> <p>② 意欲ある漁業者の育成と新規就業者の確保 経営体育成総合支援事業を積極的に活用し、新規就業者の受入や育成の強化を継続して行う。また、小学生の修学旅行の体験学習として、漁協婦人部や組合員によるイカ裂き体験、イカの塩辛造り体験、港内での釣り体験を行い、将来漁業に係わる人材の育成を図る。</p>
活用する支援措置等	<p>離島漁業再生支援交付金 漁業収入向上①②、漁村の活性化①②</p> <p>経営体育成総合支援事業 漁村の活性化②</p> <p>漁業経営セーフティーネット構築事業 漁業コスト削減①</p>

2年目（令和7年度） 所得向上率（基準年比）9.49%

漁業収入向上のための取組	<p>以下の取組により漁業収入を向上させる。 なお、下記取組内容は、進捗状況及び得られた成果等を踏まえ、必要に応じて見直すこととする。</p> <p>①鮮度保持技術の確立による魚価の向上 漁獲時に活〆が可能な魚種については活〆を行い、滅菌海水の角氷を使用して鮮度維持を図る。箱詰め時には網目の下敷きを使用し、魚に氷の痕が付かないようにすることで、魚価の向上を図る。</p> <p>②未利用魚、低利用魚を活用した新たな加工品の開発と販路拡大 姫津漁業協同組合と漁協婦人部共同の加工部会は、既存の加工施設を活用して、カレイ、メバル、イカ、タラ等の網による損傷により出荷できずに低利用な魚を対象に、傷に応じた切り身の醤油漬け・味噌漬け、一夜干しなどに加工して販売することで、漁業所得の向上を図る。また、ホームページを活用して商品のPRを行い、地方発送についての販路拡大を図る。</p> <p>③海業により漁業者の収入の拡大 体験漁業として、イカ裂き体験や釣り体験の指導による漁獲以外の漁業所得の維持を図る。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>以下の取組により、漁業用燃油等については、使用量を5%削減と円安原油高による物価上昇分5%を相殺して基準年を維持する。その他の経費については基準年比5%削減する。</p>

	<p>① 漁業経営セーフティーネット事業の加入による燃油高騰対策 組合内で漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を促進して、燃油急騰に備える。イカ釣り漁船においては、昼間操業により燃油使用量を削減する。</p> <p>② 製氷施設の整備による出荷時の氷代の削減 出荷時に氷を積み込むことにより氷の解ける量を減らす。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>① 地域販促イベントの開催及び参加 姫津漁業協同組合と漁業者及び地域住民が連携していかイカまつりを開催することにより、姫津地域の活性化を図り、加工品の販路拡大や魚食普及に繋げる。その他に、さかなまつりや協同組合まつり等に参加することで販路拡大や魚食普及を図る。</p> <p>② 意欲ある漁業者の育成と新規就業者の確保 漁業人材育成支援事業を積極的に活用し、新規就業者の受入や育成の強化を継続して行う。また、小学生の修学旅行の体験学習として、漁協婦人部や組合員によるイカ裂き体験、イカの塩辛造り体験、港内での釣り体験を行い、将来漁業に係わる人材の育成を図る。</p>
活用する支援措置等	<p>離島漁業再生支援交付金 漁業収入向上①②、漁村の活性化①②</p> <p>経営体育成総合支援事業 漁村の活性化②</p> <p>漁業経営セーフティーネット構築事業 漁業コスト削減①</p>

3年目（令和8年度） 所得向上率（基準年比）12.59%

漁業収入向上のための取組	<p>以下の取組により漁業収入を向上させる。 なお、下記取組内容は、進捗状況及び得られた成果等を踏まえ、必要に応じて見直すこととする。</p> <p>①鮮度保持技術の確立による魚価の向上 漁獲時に活〆が可能な魚種については活〆を行い、滅菌海水の角氷を使用して鮮度維持を図る。箱詰め時には網目の下敷きを使用し、魚に氷の痕が付かないようにすることで、魚価の向上を図る。</p> <p>②未利用魚、低利用魚を活用した新たな加工品の開発と販路拡大 姫津漁業協同組合と漁協婦人部共同の加工部会は、既存の加工施設を活用して、カレイ、メバル、イカ、タラ等の網による損傷により出荷できずに低利用な魚を対象に、傷に応じた切り身の醤油漬け・味噌漬け、一夜干しなどに加工して販売することで、漁業所得の向上を図る。また、ホームページを活用して商品のPRを行い、地方発送についての販路拡大を図る。</p> <p>③海業により漁業者の収入の拡大 体験漁業として、イカ裂き体験や釣り体験の指導による漁獲以外の漁業所得の維持を図る。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>以下の取組により、漁業用燃油等については、使用量を5%削減と円安原油高による物価上昇分5%を相殺して基準年を維持する。その他の経費については基準年比5%削減する。</p> <p>① 漁業経営セーフティーネット事業の加入による燃油高騰対策 組合内で漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を促進して、燃油急騰に備える。イカ釣り漁船においては、昼間操業により燃油使用量を削減する。</p> <p>② 製氷施設の整備による出荷時の氷代の削減 出荷時に氷を積み込むことにより氷の解ける量を減らす。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>① 地域販促イベントの開催及び参加 姫津漁業協同組合と漁業者及び地域住民が連携していかイカまつりを開催することにより、姫津地域の活性化を図り、加工品の販路拡大や魚食普及に繋げる。その他に、さかなまつりや協同組合まつり等に参加すること</p>

	<p>で販路拡大や魚食普及を図る。</p> <p>② 意欲ある漁業者の育成と新規就業者の確保 漁業人材育成支援事業を積極的に活用し、新規就業者の受入や育成の強化を継続して行う。また、小学生の修学旅行の体験学習として、漁協婦人部や組合員によるイカ裂き体験、イカの塩辛造り体験、港内での釣り体験を行い、将来漁業に係わる人材の育成を図る。</p>
活用する支援措置等	<p>離島漁業再生支援交付金 漁業収入向上①②、漁村の活性化①②</p> <p>経営体育成総合支援事業 漁村の活性化②</p> <p>漁業経営セーフティーネット構築事業 漁業コスト削減①</p>

4年目（令和9年度） 所得向上率（基準年比） 16.14%

漁業収入向上のための取組	<p>以下の取組により漁業収入を向上させる。 なお、下記取組内容は、進捗状況及び得られた成果等を踏まえ、必要に応じて見直すこととする。</p> <p>①鮮度保持技術の確立による魚価の向上 漁獲時に活〆が可能な魚種については活〆を行い、滅菌海水の角氷を使用して鮮度維持を図る。箱詰め時には網目の下敷きを使用し、魚に氷の痕が付かないようにすることで、魚価の向上を図る。</p> <p>②未利用魚、低利用魚を活用した新たな加工品の開発と販路拡大 姫津漁業協同組合と漁協婦人部共同の加工部会は、既存の加工施設を活用して、カレイ、メバル、イカ、タラ等の網による損傷により出荷できずに低利用な魚を対象に、傷に応じた切り身の醤油漬け・味噌漬け、一夜干しなどに加工して販売することで、漁業所得の向上を図る。また、ホームページを活用して商品のPRを行い、地方発送についての販路拡大を図る。</p> <p>③海業により漁業者の収入の拡大 体験漁業として、イカ裂き体験や釣り体験の指導による漁獲以外の漁業所得の維持を図る。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>以下の取組により、漁業用燃油等については、使用量を5%削減と円安原油高による物価上昇分3%を相殺して基準年の2%削減とする。その他の経費については基準年比5%削減する。</p> <p>① 漁業経営セーフティーネット事業の加入による燃油高騰対策 組合内で漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を促進して、燃油急騰に備える。イカ釣り漁船においては、昼間操業により燃油使用量を削減する。</p> <p>② 製氷施設の整備による出荷時の氷代の削減 出荷時に氷を積み込むことにより氷の解ける量を減らす。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>① 地域販促イベントの開催及び参加 姫津漁業協同組合と漁業者及び地域住民が連携していかイカまつりを開催することにより、姫津地域の活性化を図り、加工品の販路拡大や魚食普及に繋げる。その他に、さかなまつりや協同組合まつり等に参加することで販路拡大や魚食普及を図る。</p> <p>② 意欲ある漁業者の育成と新規就業者の確保 漁業人材育成支援事業を積極的に活用し、新規就業者の受入や育成の強化を継続して行う。また、小学生の修学旅行の体験学習として、漁協婦人部や組合員によるイカ裂き体験、イカの塩辛造り体験、港内での釣り体験を行い、将来漁業に係わる人材の育成を図る。</p>
活用する支援措置等	<p>離島漁業再生支援交付金 漁業収入向上①②、漁村の活性化①②</p> <p>経営体育成総合支援事業</p>

	漁村の活性化② 漁業経営セーフティーネット構築事業 漁業コスト削減①
--	--

5年目（令和10年度） 所得向上率（基準年比）19.25%

漁業収入向上の ための取組	<p>以下の取組により漁業収入を向上させる。 なお、下記取組内容は、進捗状況及び得られた成果等を踏まえ、必要に応じて見直すこととする。</p> <p>①鮮度保持技術の確立による魚価の向上 漁獲時に活〆が可能な魚種については活〆を行い、滅菌海水の角氷を使用して鮮度維持を図る。箱詰め時には網目の下敷きを使用し、魚に氷の痕が付かないようにすることで、魚価の向上を図る。</p> <p>②未利用魚、低利用魚を活用した新たな加工品の開発と販路拡大 姫津漁業協同組合と漁協婦人部共同の加工部会は、既存の加工施設を活用して、カレイ、メバル、イカ、タラ等の網による損傷により出荷できずに低利用な魚を対象に、傷に応じた切り身の醤油漬け・味噌漬け、一夜干しなどに加工して販売することで、漁業所得の向上を図る。また、ホームページを活用して商品のPRを行い、地方発送についての販路拡大を図る。</p> <p>③海業により漁業者の収入の拡大 体験漁業として、イカ裂き体験や釣り体験の指導による漁獲以外の漁業所得の維持を図る。</p>
漁業コスト削減 ための取組	<p>以下の取組により、漁業用燃油等については、使用量を5%削減と円安原油高による物価上昇分3%を相殺して基準年の2%削減とする。その他の経費については基準年比5%削減する。</p> <p>① 漁業経営セーフティーネット事業の加入による燃油高騰対策 組合内で漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を促進して、燃油急騰に備える。イカ釣り漁船においては、昼間操業により燃油使用量を削減する。</p> <p>② 製氷施設の整備による出荷時の氷代の削減 出荷時に氷を積み込むことにより氷の解ける量を減らす。</p>
漁村の活性化の ための取組	<p>① 地域販促イベントの開催及び参加 姫津漁業協同組合と漁業者及び地域住民が連携していかイカまつりを開催することにより、姫津地域の活性化を図り、加工品の販路拡大や魚食普及に繋げる。その他に、さかなまつりや協同組合まつり等に参加することで販路拡大や魚食普及を図る。</p> <p>② 意欲ある漁業者の育成と新規就業者の確保 漁業人材育成支援事業を積極的に活用し、新規就業者の受入や育成の強化を継続して行う。また、小学生の修学旅行の体験学習として、漁協婦人部や組合員によるイカ裂き体験、イカの塩辛造り体験、港内での釣り体験を行い、将来漁業に係わる人材の育成を図る。</p>
活用する支援措 置等	離島漁業再生支援交付金 漁業収入向上①②、漁村の活性化①② 経営体育成総合支援事業 漁村の活性化② 漁業経営セーフティーネット構築事業 漁業コスト削減①

(5) 関係機関との連携

行政、水産団体、集落、観光業と連携を図り、取組の実現を目指す。

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

浜プランの取組の実施状況及び効果の発現状況を自ら評価し、それを踏まえた取組の改善を検討するため、委員会は、浜プラン評価検討委員会を毎年の年度終わりに1回開催し、その結果を会員会議に報告・審議し決定する。なお、浜プラン評価検討委員会の構成委員は、①漁協組合長、②漁協役員、③漁協婦人部会長とする。

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の 向上10%以上	基準年	千円
		千円
	目標年	千円
		千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

(3) 所得目標以外の成果目標

メバルの単価向上	基準年	平成30年度～令和4年度5中3平均： 1, 132 (円/kg)
	目標年	令和10年度： 1, 312 (円/kg)
イカ裂き体験参加人数の増加	基準年	平成30年度～令和4年度5中3平均： 123 (人)
	目標年	令和10年度： 198 (人)

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

メバルについては、殺菌海水氷を使用して鮮度を保持し、発送時に氷と魚の間に下敷きをして氷の痕が付かなくなるようメバル単価の向上を図る。メバル単価については、平成30年度から令和4年度5中3平均による単価を使用し、毎年3%の向上を目指す。平成30年の単価が1,279円/kgで基準年の単価の約13%増しであることから5年で15%増しは十分妥当であると判断した。

イカ裂き体験参加人数については、コロナ禍が収まり、基準年の毎年10%増加を目標にした。数値的には、平成30年193人、令和元年186人と、コロナ禍で落ち込む以前の人数は目標年に近い数値のため十分妥当な目標であると判断した。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
離島漁業再生支援交付金事業(国)	内容：漁業集落構成員の漁業所得向上及び集落内の漁業就業者数維持を図るために補助金を交付する。 →プランにおいて、鮮度保持技術の確立による魚価の向上や未利用魚、低利用魚を活用した新たな加工品の開発と販路拡大により漁業収入を向上させることを基本方針の一つとして挙げている。
漁業経営セーフティネット構築事業(国)	内容：漁業者と国の拠出により、燃油価格などが高騰したときに補填金を交付する。 →プランの取組全体を支える。
経営体育成総合支援事業(国)	内容：意欲ある若者が漁業に新規参入し、継続して漁業に携わるための環境を整えるとともに、漁業の高付加価値化を担う人材を確保・育成する。 →プランにおいて、後継者、新規就業者の不足を根本問題として挙げ、実践しながら漁業の高付加価値化を担える人材を育成することを活性化の基本方針の一つとして挙げている。